

母のころを すべてに

佐藤初女

出版記念講演会の
ご案内

anonima.st



CD+Photo Book

『母のころを すべてに』 佐藤初女

語り:佐藤初女 写真:馬場浩史 音:川崎義博

発行 アノニマ・スタジオ
発売 KTC中央出版
定価 3,675円(税込)

食べることは生きること。よりよく生きるためには、誰もが母のころをもって、食や自然とまっすぐ向き合い、今をひたすら生きること……。津軽の風土に寄り添いながら紡がれる、佐藤初女さんの誠実な暮らしとあたたかな語り口を、耳で、そして目で味わう、ことばと音の手帖です。11月上旬、全国の書店にて発売開始。



生活というのは、毎日変わっていますから、同じ日であってはいけないと思っています。どんなに些細でも、ひとつふたつは昨日と明日では違っているから。

先のことは、一寸先もわからない。でも今ということこそ確実なときはない。だから、今この瞬間を感謝して生きる。すると、大変自由な気持ちで生きられるのです。

野菜をゆがくとき、
今までの緑よりもっと
輝くような緑になる一瞬があるんですよ。
茎を見るとすきとおっている。
そのとき食べるのが一番おいしい。
そうやって私たちの身体に入ると、
今まで野菜であったものが、
私たちの命となって
生涯一緒に生きていく。

調理するところっていうのは、
その人の生き方そのものだと思うんですね。

あたたかい太陽にも似るやさしい言葉。
冬の厳しい寒さに備える助言。
秋風を思わせるようなごやかな雰囲気。
それが母のころではないか、と思います。

『母のころを すべてに』(アノニマ・スタジオ刊)より

佐藤初女さん 講演会

「母のころをすべてに ― “おむすび”のころと風土の恵み―」

CD+Photo Book『母のころを すべてに』（アノニマ・スタジオ刊）発売を記念して、

「森のイスキア」から佐藤初女さんをお迎えます。

今日をよりよく生きるために必要なのは、

誰もが心の奥底に持っている「母のころ」――

初女さんが今感じている、食えることと生きることについてお話しいたきます。

司会・川崎義博（サウンドアーティスト、CD+Photo Book『母のころを すべてに』製作）



Profile

佐藤 初女（さとう・はつめ）

1921年、青森県生まれ。青森技芸学院（現・青森明の星高等学校）卒業後、小学校教員を経て、79年より弘前染色工房を主宰。老人ホームの後援会や弘前カトリック教会での奉仕活動を母体に、83年に「弘前イスキア」、92年に「森のイスキア」を開く。手作りの料理と相手を包み込む自然な対話で多くの人の心を癒し、勇気を与えている。映画「ガイアシンフォニー（地球交響曲）第二番」でその活動が紹介され、国内外で公演活動が続いている。

日時 2008年10月30日（木） 開場18:30 開演19:00

場所 東京ウィメンズプラザ ホール（定員246名）
東京都渋谷区神宮前5-53-67

【行き方】地下鉄の場合：東京メトロ銀座線・半蔵門線・千代田線表参道駅下車徒歩7分

JR・私鉄の場合：山手線・東急東横線・京王井の頭線渋谷駅下車徒歩12分

バスの場合：都バス（渋88系統）渋谷駅から4分、青山学院前バス停下車徒歩2分



料金 2,500円（税込）全席指定

発売 チケットぴあ 9月30日（火）10:00より発売開始
<http://pia.jp/t/> Tel.0570-02-9999（Pコード:614-298）

主催 アノニマ・スタジオ
お問い合わせ Tel.03-6699-1064

企画協力 starnet（遊星社）